

# キッズみんなの日記

4月号

ご入学、ご進級、おめでとございます。そして、新規入会のみなさん、ようこそ梨ゼミへ！これから、一緒に頑張っていくましようね。講師一同、みなさんを全力でサポートしていきます。

誌面最後の伊藤先生のおすすめ本のコーナーで紹介している推薦図書は、児童文学に魅せられた伊藤先生選りすぐりの本です。以前掲載されたおすすめの本は「梨ゼミ文庫」として、すでに塾の本棚に揃っています。貸出も行っていますので是非ご利用ください。ご本人から担当講師に声をかけていただいても結構です。豊かな文章力を身につけるには、素晴らしい日本語にたくさん触れることです。活字から想像する世界の素晴らしさを是非是非味わってください！

## 優秀作品紹介

### ★初級者の部★

#### 『いちごがり』

かぞくでいちごがりにいきました。ハウスのなかは、いちごだらけでした。おとうさんは、ひやっこたべたいといっていました。わたしはあまいものがきらいなので、ミルクはつかわないでにじゅごくらいたべました。おとうさんとおかあさんとおねえちゃん、ミルクをいっぱいかけていました。いちごは とても おいしかったです。(新小一・NHさん)

### ★★中級者の部★★

#### 『なくなつたかさ』

わたしのかさがなくなりました。「さがしてらっしゃい。」なんて言われました。かさは、いまごろどうしているのでしょうか。

まさか、かさのこのかな家でくらししているのか。それとも、おとしものコーナーでぐうぐうねっているのか。でも、どこに行つたんでしょう。道のはじめにゴミといっしょにすてられていたりしたら、すごくかなしいです。もしも見つかったら、そのかさを六年生まで、だいにつかいたいと私はおもっています。(新小三・TKさん)



### ★★★上級者の部★★★

#### 『そろばん教室』

今日、そろばんのじゅ業がありました。そろばんは、とてもむずかしかったです。

さいしよは、なにがなんだかまったくわかりませんでした。でも、だんだんわかってくる、一の位の計算から、十の位の計算までできました。さらに、十の位の計算から、百の位の計算までできて、うれしかったです。

それから、そろばんの先生もやさしくてわかりやすかったです。とてもおもしろかったです。またやりたいです。(新小四・SRさん)

詩のような芸術的で個性的な日記ですね。かさを人間に見立てた「擬人法」を使い、かさの行方を想像しているところなどお見事の一言です。かさが、なくなるという小学生なら皆一度はある日常的な体験を、絵本のようなメルヘンチックでかわいらしい文章に仕上げました！

初めてのそろばんに対して、「戸惑い」→「喜び」→「興味」と上手に感情の移り変わりを表現しましたね。さっぱりわからなかったそろばんが、徐々に出来るようになる過程も上手に説明しています。最後は、興味が湧いたことを表す一文でしめくくついているところも良いですね。

### ★★★上級者の部★★★

#### 『野球の体験』

ぼくは、野球の体験に友達と行きました。野球は小さなボールを打ちます。それが、ぼくたちにとっては、かなりむずかしかったです。

そして、今日は特別練習だったので、バッティングをやらせてもらいました。友達は打って、一塁に行きました。だけど、ぼくは、なかなか打てませんでした。その時友達か、

「がんばって、まだあきらめないで。」

と言いました。ぼくは、その言葉で、よおし打ってやるぞ、と心の中で思っていました。その時、打ってレフトにボールが行きました。とてもうれしかったです。

そして、かんとくさんが、

「上手なので、よかつたら、うちのチームに入りませんか。」

と言いました。その時ぼくは、涙が出るくらいうれしかったです。(新小五・SH君)



自分より先に累に出られた「焦り」や、友達の励ましで「奮い立つ気持ち」、監督の一言で一気に「喜び、感動へと変化する感情を見事に表現していますね。すべて「きっかけ(理由)」+「気持ち」の形を上手に使っている良いお手本です。みなさんも是非、参考してみてください！

『野地先生』

私の担任の野地先生は、三月で定年たいしょくされます。野地先生は、私が三年生の時から、二年間教えてくれました。

最初は、男の先生でいやだなあ、と思いましたが、でも、とても面白くて、やさしくて、いつもみんなと遊んでくれるので、段々好きになっていきました。今では、本当に大好きな先生です。

明日は、先生のお別れ会をクラスでやるので、先生にとつても、私やクラスのみんなにとつても、思い出に残るお別れ会になればいいと思います。(新小五・MSさん)

先生に対するSちゃんの思いがとても良く伝わってくる文章ですね。先生との出会いから現在に至るまでの感情の移り変わりを無駄なく、かつ、わかりやすく説明しています。この季節ならではの「別れ」をテーマにした心温まる文章でした！目上の人に対する敬語の使い方も見習いたいですね。

『スプリングコンサート』

三月十三日、学校の体育館でスプリングコンサートが行われました。スプリングコンサートとは、この一年間のしめくくりの演そう会です。六年生は、この日引退します。

この日は、十五曲ほど演そうしました。その中でもとてもむずかしい曲は、「インウィクタ」という曲です。この曲は、夏のコンクールで銀賞をとった思い出の曲です。

始める前はとてもどきどきしたけど、始まったらもう集中してどきどきしませんでした。大きな失敗もなく終わりました。

来年は、ぼくが六年生なのでこうはい違を引っぱっていきます。(新小六・SD君)

スプリングコンサートの説明も、六年生の引退のことも、演奏した楽曲のことも、全てムダも抜けない、なんとスマートな説明なのでしょう！最後は高学年としてのD君の意気込みが盛り込まれていて頼もしいですね。非常に完成度の高い文章であつたです！高学年の皆さんは是非参考に！

## 伊藤先生のおすすめ本

### おいしいのほうけん

童心社

古田足日 著/田畑精一 一行

すくろ保育園では、何度注書されても言うことを聞かない子は鼻で暗なおひいれに入れられる。おひいれの奥に広がる夜の街でさつとあまの大きな冒険が始まった。

### ★★中級者★★

#### イタリアの昔話 こぐま社

剣持弘子 翻訳/平田美恵子

イタリアの代表的な昔話「オレンジ」をひひめ、イタリア各地の昔話百全15話収録。声に出して読みやすく、聞いてわかりやすい訳文のて舌にもおすすめ。

### ★★★上級者★★★

#### 人形の家 岩波少年文庫

ルーマン 著/瀬田貞二 翻訳

小さなオランダ人形のトーチーは、「人形の家」に両親と弟のりんごちゃん、犬のかがりと幸せに暮らしていました。ところがある日、ごうまなマーチンが入り込んできて思いがけない事件が起こります…。真実という大切な問題を人形の家にたくした、美しい物語。

